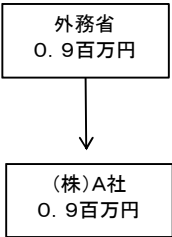


平成25年行政事業レビューシート (外務省)										
事業名	官民連携相談窓口業務委託に必要な経費			担当部局庁	国際協力局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度			担当課室	政策課			課長 鈴木 量博		
会計区分	一般会計			政策・施策名	V I - 1 経済協力					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項ハ(経済協力)			関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ODAにより、中小企業の優れた製品や技術を途上国の開発に活用することで、途上国の開発と日本経済の活性化の両立を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中小企業は全国に所在していることから、全国各地で開催される説明会において、中小企業向けに作成するODAを活用した海外展開支援事業の概要説明資料を配布・説明し、本件事業の理解促進を図る。									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
			当初予算	—	—	—	0.9			
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	—	—			
			計	—	—	—	0.9			
			執行額	—	—	—				
			執行率(%)	—	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	全国各地での説明会開催回数			成果実績	件	—	—	—	50回	
				達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)					単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	説明会での資料配付対象者			活動実績 (当初見込み)	件	—	—	—	2,000人	
					()	()	()	()		
単位当たりコスト	資料代 18,000円／1回(見込み)			算出根拠	18,000円X50回					
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	啓発宣伝費		0.9							
	計		0.9							

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	この事業は、ODAにより、中小企業の優れた製品や技術を途上国の開発に活用することで、途上国の開発と日本経済の活性化の両立を図るものであるが、平成24年度から始まった事業であり、地方を中心に全国の中小企業に更に周知し、充分に周知し、理解促進を図る必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	本事業の理解促進の観点から、真に必要なものにつき、必要最低限の支出で行う。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	ODAを活用した中小企業の海外展開支援事業について、広く周知する目的として全国で説明会を実施し、中小企業に対する説明に加えて、地方自治体、各種経済団体、金融機関、マスコミ等を通じて広く周知するため、引き続き支出が認められる。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年	平成24年	新25-33

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

個別事業名:

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					